

町長施政方針



「葛巻にしかできない」
チャレンジ精神を磨き
人口減少問題を解決

鈴木重男町長

新型コロナウイルス感染症が確認されてから丸2年が経過しましたが、依然として感染拡大は収束せず、この先も新型コロナウイルスという見えないリスクを感じながらの生活が続くかもしれませんが、町民の皆さんと一丸となり助け合いながら、この困難を乗り越えていきたいと思っております。

このコロナ禍を「逆境の時こそ大きなチャンスをつかむ好機」と捉え、国の施策に呼応しながらこれまで町が築き上げてきた「葛巻らしさ」「葛巻だからできる」「葛巻にしかできない」というチャレンジ精神に磨きをかけ、さらに積極果敢に取り組むことで最重要課題である人口減少問題の解決、交流人口・関係人口の拡大、地方創生による魅力ある「まちづくり」などを進めて参ります。(要約)

教育行政施政方針



学びと交流の拠点
まちづくりを担う
人材の育成に努める

高畑嗣人教育長

子育て環境の充実を図るために、老朽化が著しい保育園舎の計画的な改築整備を順次進め、葛巻保育園を核とした認定こども園としての一貫した経営による保育の充実を図ります。

新庁舎内に設置する町民の学びと交流、図書館機能や文化創造活動の拠点となるスペースのオープンに向け、サービスの充実に取り組み、まちづくりを担う人材の育成に努めて参ります。(要約)

新庁舎



完成が待たれる新庁舎（4月5日）

当初予算額

会計名	予算額
特別	
国民健康保険事業	8億4546万円
農業集落排水事業	2億2393万円
後期高齢者医療事業	8731万円
小計	11億5671万円
企業	
病院事業	13億4065万円
水道事業	3億3528万円
小計	16億7594万円

特別・企業会計

三つの特別会計の当初予算総額は、11億5671万円、前年度に比べて557万円、0.5%減少しました。二つの企業会計の当初予算総額は、16億7594万円、前年度に比べて1億701万円、6.8%増加しました。

病院整備の償還が開始
病院会計は、平成29年に整備した病院施設整備費の償還開始により、収益的支出と資本的支出の総額は1億2928万円、6%増加しました。

水道の工事が減
水道会計は、大橋排水管添架工事の完了などにより、収益的支出と資本的支出の総額が2228万円、6.2%減少しました。

竣工へ最大規模の予算

大型の4年度予算を決定

3月定例会議

3月定例会議は、3月4日から15日までの12日間の日程で行われました。冒頭、鈴木町長が施政方針を、高畑教育長が教育行政方針の演述を行いました。町長から提出された議案は4年度一般会計予算など21件で、原案どおり『決定』しました。一般質問では5人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。

前年度より
約10億円の増

一般会計

4年度の一般会計当初予算は、75億6026万円、前年度に比べて10億2327万円、15.7%の増となっております。

基金からの
繰入れが増加

収入は全体の43.3%を占める地方交付税が32億7000万円、前年

度比べて2億3000万円、7.6%増加しました。町税は5億7477万円、前年度に比べて3944万円、6.4%減少しました。

基金からは7億6019万円繰入れ、主に新庁舎建設事業の財源となります。

自主財源の割合は20.7%で、前年度に比べて3億599万円、24.4%増加しました。

新規事業が充実

支出は、新庁舎建設費

用を計上している総務費が24億3665万円、152.6%の増となっております。

若者雇用促進住宅整備事業、集会所施設整備事業（江刈馬淵自治会館）、移

動図書館車更新事業などの新規事業が盛り込まれました。一般会計予算の詳しい内訳は4～5ページを、主な新規事業は6～7ページをご覧ください。

一般会計当初予算額の推移

